2017年度2学期『韓日関係研究』講義計画

講師、南基正（ナム・キジョン、ソウル大学日本研究所、副教授）

　　　（104号棟401号室／02-880-9347／[profnam@snu.ac.kr](mailto:profnam@snu.ac.kr)）

日時、水曜日、15時から19時まで

講義室、140号棟103号室

使用言語、日本語

面談、随時（事前に電子メールでアポイントメントを取ること）

講義の目標と概要

アジア太平洋戦争における日本の敗戦と朝鮮の解放で迎えた「戦後」における韓日関係の現状を把握し、関係発展を妨げる問題の所在を確認し、未来に向けた展望を描く。そのため、第一部で韓日関係の歴史的展開を把握し、第二部では政治・経済・社会文化の面における韓日関係の現状を確認する。その際、韓日関係の展開の方向を定めた重要な外交文書を直接確認する。なお、国家間の葛藤と協力について説明を試みるいくつかの国際政治理論を参照し、韓日関係についての普遍的かつ客観的な分析を試みる。

2015年は国交樹立50年を迎えた年であり、韓日の研究者たちを網羅した形ですぐれた研究が続出した。講義では、これらの研究をしっかり読むことで、韓日関係についての研究の現状を確認し、残された課題を発見する。その上、受講生たちは、韓日関係の発展を妨げる問題を発見し、自らその克服の可能性を模索することで講義に主体的に参加する。

受講生の課題

受講生は各自、問題を設定し、研究計画発表と研究報告を行う。場合によっては、グループワークを行うこともありうる。この際、一次資料を読み分析することを奨励する。

評価の方法

リーディングリストの要約発表と討論＝40％（20％＋20％）

研究計画発表と研究報告＝30％（15％＋15％）

期末ペーパー提出（提出期限厳守、12月20日）＝30％

講義日程

第1部：ウォーミングアップと問題の発見（李鍾元・木宮正史・磯崎典世・浅羽祐樹『戦後日韓関係史』有斐閣、2017年）

第1週（9月6日）：戦後日韓関係の歴史と構図

李鍾元「（序章）戦後日韓関係の歴史と構図」

李鍾元「（第１章）戦後日韓関係の始まり」

第2週（9月13日）：冷戦期の日韓関係

木宮正史「（第２章）冷戦と経済協力」

木宮正史「（第３章）冷戦の変容と関係の緊密化」

第3週（9月20日）：脱冷戦期の日韓関係

磯崎典世「（第４章）韓国民主化と市民社会交流」

磯崎典世「（第５章）脱冷戦期の協力の模索と課題の噴出」

第4週（9月27日）：構造変容期の日韓関係

浅羽祐樹「（第６章）複合化する日韓関係」

浅羽祐樹「（第７章）『普通』の２国家間関係へ」

第5週（10月4日）：秋夕休日

第6週（10月11日）：日韓関係の現在と展望

李鍾元「（終章）今後の日韓関係に向けて」

討論と研究計画発表：日韓関係の争点

第2部：戦後日韓関係・政治編（木宮正史・李元徳編『日韓関係史1965−2015　I、政治）東京大学出版会、2015年）

第7週（10月18日）：日韓政治関係の基本的枠組み

木宮正史「（序論）構造変容に直面し漂流する日韓関係」

李元徳「（第1章）日韓関係1965年体制の軌跡――過去と現在の照明」

木宮正史「（第2章）日韓外交協力の軌跡とその現在的含意」

朴喆熙「（第3章）国家戦略と市民受容の整合性から見る日韓関係50年」

大西裕「（第4章）日韓自治体間協力の展開――姉妹都市提携の戦略」

崔喜植「（第5章）日韓政策コミュニティの生成と変化」

第8週（10月25日）：国際政治の中での日韓関係

李鍾元「（第6章）戦後日韓関係と米国――日米韓トライアングルの変容と持続」

朴栄濬「（第7章）韓国の外交と日韓安保関係の変容　1965-2015」

朴正鎮「（第8章）中朝関係の変化と日朝関係――『二つの朝鮮』，日韓基本条約の解釈をめぐって」

玄大松「（第9章）独島問題と日韓関係　1965-2015」

浅羽祐樹「（第10章）日韓関係における『境界問題』――『竹島・独島問題』の「現状」をめぐるダイナミズム」

趙胤修「（第11章）海洋をめぐる日韓関係50年」

第9週（11月1日）：歴史問題への取り組み

吉澤文寿「（第12章） 日韓諸条約の評価をめぐる日韓関係――基本条約第二条，請求権協定第二条一を中心に」

南相九「（第13章）歴史問題と日韓関係」

浅野豊美「（第14章）民主化の代償――『国民感情』の衝突・封印・解除の軌跡」

張博珍「（第15章）個人請求権問題をめぐる日韓関係――葛藤の過程と原因」

外村大「（第16章）日韓条約以後の『在日朝鮮人問題』の展開」

第3部：戦後日韓関係・経済編（木宮正史・李元徳編『日韓関係史1965−2015　II、経済』東京大学出版会、2015年）

第10週（11月8日）：日韓経済関係の歴史、現状、展望

金都亨・安倍誠「（序論）日韓経済関係の歴史と未来」

金都亨「（第1章）韓国の経済発展と日韓経済関係の展開」

安倍誠「（第2章）日本の対韓経済協力――一方的援助から相互協力への模索」

曺晟源「（第3章）対日請求権資金と韓国の経済開発」

第11週（11月15日）：金融・産業にみる日韓経済関係

金暎根「（第7章）日韓外交・通商政策の対立と協力の構造」

高安雄一「（第8章）IMFによる金融支援の限界と日韓金融協力」

朴盛彬「（第9章）韓国通貨危機以降の日韓金融通貨協力」

第12週（11月22日）：競争と協力にみる日韓経済関係の変容

金龍烈「（第10章）韓国の対日キャッチアップの成果と要因」

吉岡英美「（第11章）半導体産業における日韓企業の興亡」

李鴻培「（第12章）日本の対韓国技術移転と部品素材産業の技術協力」

第4部：戦後日韓関係・経済編（木宮正史・李元徳編『日韓関係史1965−2015　III、社会・文化』東京大学出版会、2015年）

第13週（11月29日）：市民社会と日韓関係

李鍾久「（序論）社会・文化領域における日韓関係の五〇年」

李鍾久「（第1章）日韓関係と社会文化的な相互作用」

磯崎典世「（第2章）市民社会における相互認識」

文京洙「（第3章）在日朝鮮人からみる日韓関係――『国民』を超えて」

大畑裕嗣「（第4章）日本の日韓階段反対運動とその内在的批判――社会党，総評，共産党を中心に」

第14週（12月6日）：文化・知識の交流と日韓社会のダイナミズム

李志遠「（第6章）日韓文化交流と『反日』論理の変容――『倭色文化』批判言説の弱化」

金孝眞「（第7章） 大衆文化を通して見た日韓交流――オタク文化の事例を中心に」

具度完「（第8章）韓国と日本の環境運動と知識の交流」

瀬地山角「（第9章）ジェンダーで日韓を見るということ――少子化，女性，超高齢社会」

有田伸「（第10章）非正規雇用の日韓関係史と日韓比較――被雇用者の分類枠組みの伝播，土着化，そしてブーメラン化」

第15週（12月13日）：研究発表（ペーパー提出は12月20日）

主教材

李鍾元・木宮正史・磯崎典世・浅羽祐樹『戦後日韓関係史』有斐閣、2017年。

木宮正史・李元徳編『日韓関係史1965−2015　I、政治』東京大学出版会、2015年。

安倍誠・金都享編『日韓関係史1965−2015　II、経済』東京大学出版会、2015年。

磯崎典世・李鍾久編『日韓関係史1965−2015　III、社会・文化』東京大学出版会、2015年。

**補助教材**

＜編著＞

磯崎典世・李鍾久編『日韓関係史1965−2015　III、社会・文化』東京大学出版会、2015年。

李鍾元・木宮正史・浅野豊美編『歴史としての日韓国交正常化　II、脱植民地化編』法政大学出版局、2011年。

李鍾元・木宮正史・浅野豊美編『歴史としての日韓国交正常化　I、東アジア冷戦編』法政大学出版局、2011年。

李鍾元・木宮正史・磯崎典世・浅羽祐樹『戦後日韓関係史』有斐閣、2017年。

木宮正史・李元徳編『日韓関係史1965−2015　I、政治』東京大学出版会、2015年。

小此木政夫・河英善編『日韓新時代と経済協力』（シリーズ・日韓新時代2）慶應義塾大学出版会、2012年。

小此木政夫・河英善編『日韓新時代と共生複合ネットワーク』（シリーズ・日韓新時代3）慶應義塾大学出版会、2012年。

小此木政夫・河英善編『日韓新時代と東アジア国際政治』（シリーズ・日韓新時代1）慶應義塾大学出版会、2012年。

安倍誠・金都享編『日韓関係史1965−2015　II、経済』東京大学出版会、2015年。

日韓21世紀委員会『日韓交流の現状と課題』日本国際交流センター、1991年。

＜学術誌特別号＞

*일본비평*（**特集、韓日修交50年葛藤と協力の進化**）12, 2015.

『現代韓国朝鮮研究』（特集、日韓国交正常化50年を超えて）15号、2015年。

＜著書＞

Glosserman, Brad and Scott A. Snyder, 2015. *The Japan-South Korea Identity Clash: East Asian Security and the United States*, Columbia University Press.

Lind, Jennifer, 2010, *Sorry States: Apologies in International Politics*, Cornell University Press.

남기정, *기지국가의 탄생: 일본이 치른 한국전쟁*, 서울대학교출판문화원, 2016年。

박철희 편, *한일관계 50년: 비교사적 이해*, 대한민국역사박물관, 2016.

장박진, *미완의 청산: 한일회담 청구권 교섭의 세부과정*, 역사공간, 2014.

장박진, *식민지 관계 청산은 왜 이루어질 수 없었는가: 한일회담이라는 역설*, 논형, 2009.

ヴィクター・D.チャ（船橋洋一監訳・倉田秀也訳）『日米韓、反目を超えた提携』有斐閣、2003年。

吉澤文寿『戦後日韓関係――国交正常化交渉をめぐって（新装新版）』クレイン、2015年。

吉澤文寿『日韓会談1965—戦後日韓関係の原点を検証する』高文研、2015年。

高崎宗司『「妄言」の原型――日本人の朝鮮観』木犀社、2014年。

高崎宗司『検証・日韓会談』岩波新書、1996年。

細谷雄一『歴史認識とは何か――日露戦争からアジア太平洋戦争まで』（戦後史の解放I）新潮選書、2015年。

水野慎一郎『相互依存の日韓経済関係』勁草書房、2008年。

太田修『日韓交渉—請求権問題の研究（新装新版）』クレイン、2015年。

池内敏『竹島—もうひとつの日韓関係史』中公新書、2016年。

鄭在貞（坂井俊樹監訳、金廣植・徐凡喜訳）『日韓「歴史対立」と「歴史対話」――「歴史認識問題」和解の道を考える』新泉社、2015年。

服部龍二『外交ドキュメント、歴史認識』岩波新書、2015年。

朴正鎮『日朝冷戦構造の誕1945−1965――封印された外交史』平凡社、2012年。

朴裕河『帝国の慰安婦――植民地支配と記憶の闘い』朝日新聞出版、2014年。

木村幹『日韓歴史認識問題とは何か――歴史教科書・「慰安婦」・ポピュリズム』ミネルヴァ書房、2014年。

李鍾元『東アジア冷戦と韓米日関係』東京大学出版会、1996年。

劉仙姫『朴正煕の対日・対米外交――冷戦変容期韓国の政策、1968〜1973年』ミネルヴァ書房、2012年。

和田春樹『朝鮮・韓国・日本』

和田春樹『日本と朝鮮の100年史――これだけは知っておきたい』平凡社、2010年。

崔慶原『冷戦期日韓安全保障関係の形成』慶応義塾大学出版会、2014年。

趙世暎（姜喜代約）『日韓外交史――対立と協力の50年』平凡社新書、2015年。

＜論文＞

Nam, Kijeong, 2015. “Similar Conditions, DifferentPaths?: Japan's Normalization of Relations with Korea and Vietnam,” *Journal of Contemporary Korean Studies* Vol.2 No.2.

남기정, “2002년 북일정상회담과 아베 신조의 부상,” *역사비평* 112, 2015.

남기정, “샌프란시스코 평화조약과 한일관계: ‘관대한 평화’와 냉전의 상관성”, *동북아역사논총* 22, 2008.

남기정, “아베시대의 동북아시아 국제정치: 불안정의 나선과 극복의 시나리오,” *일본연구논총*, 2014.

남기정, “자위대에서 군대로?: ‘자주방위의 꿈’과 ‘미일동맹의 현실’의 변증법,”*일본연구논총* 43호, 2016.

남기정, “중일국교정상화와 한일관계: 지연된 갈등”, *일본연구논총* 22, 2011.

남기정, “한일 선박반환 교섭에 관한 연구: 1차 선박분과위원회 교섭을 중심으로 ,” *일본연구* 43, 2010.

남기정, “한일관계에서 역사문제와 안보의 연동 메커니즘: 투트랙 접근의 조건과 과제,”*일본연구논총* 45호, 2017.

남기정, “한일국교정상화 50년: 갈등과 협력은 어떻게 진화하는가?,” *일본비평* 12, 2015.

磯崎典世「市民社会から組み立てる安全保障――東アジアの『現実』と日韓市民社会の取り組みを中心に」木宮正史編『朝鮮半島と東アジア』（シリーズ日本の安全保障、第６巻）岩波書店、2015年。

金恩貞「1950年代初期、日本の対韓請求権交渉案の形成過程――『相互放棄プラスアルファ』案の形成を中心に」『アジア研究』62卷1号、2016年。

南基正 「東アジア休戦システムの中の朝鮮半島と日本」『コリア研究』2、2011年。

南基正「戦後日韓関係の展開――冷戦、ナショナリズム、リーダーシップの相互作用」『GEMC Journal』　7、2012年。

南基正「日韓漁業交渉に見る東アジア国際社会の出現――漁業及び『平和線』をめぐる国際法論争を中心として」『法学』76(6)、2013年。

南基正「日韓関係における歴史問題と安全保障の連動――消極的安保から積極的安保へ」（未出版原稿）

南基正「平和政策としての歴史和解――日韓パートナシップ宣言（1998年）の形成過程」（未出版原稿）

木宮正史「日本の安全保障と朝鮮半島」木宮正史編『朝鮮半島と東アジア』（シリーズ日本の安全保障、第６巻）岩波書店、2015年。

木宮正史「日本の対朝鮮半島外交の展開――地政学・脱植民地化・冷戦体制・経済協力」波多野澄雄編『外交史、戦後編』（日本の外交、第2卷）岩波書店。

李鍾元「韓日会談とアメリカ――『不介入政策』の成立を中心に」日本国際政治学会編『国際政治（1950年代の国際政治）』105号、1994年

＜回想など＞

김석우(면담 남기정), *한국외교와 외교관: 김석우 전 통일부 차관(국립외교원 구술사 프로젝트)*, 역사공간, 2017(근간).

김석우, 남북이 만난다 세계가 만난다, 고려원, 1995.

배의환, *보릿고개는 넘었지만*, 내외경제신문사, 1992.

오재희(면담 이원덕), *한국외교와 외교관: 오재희 전 주일대사(국립외교원 구술사 프로젝트)*, 역사공간, 2014.

河野洋平『日本外交への直言—回想と提言』岩波書店、2015年。

吉見義明『従軍慰安婦』岩波新書、1995年。

金東祚（林建彦訳）『韓日の和解――日韓交渉１４年の記録』サイマル出版会、1993年。

政策研究大学院大学『柳谷謙介（元外務事務次官）オーラル・ヒストリー』上、政策研究大学院大学、2005年。

前田利一「吉田さんと韓国」『親睦』169号、1967年。

谷野作太郎（服部龍二・若月秀和・昇亜美子編）『外交証言録　アジア外交−−回顧と考察』岩波書店、2015年。

八次一夫『わが浪人外交を語る』東洋経済新報社、1973年。

八木信雄『日本と韓国』日韓文化協会、1978年。

李東元（崔雲祥監訳）『韓日条約締結秘話――ある二人の外交官の運命的出会い』PHP研究所、1997年。

和田春樹『慰安婦問題の解決のために—アジア女性基金の経験から』平凡社新書、2015年。

＜参考サイト＞

データーベース「世界と日本」（田中明彦研究室）、<http://worldjpn.grips.ac.jpt>

デジタル記念館「慰安婦問題とアジア女性基金」、<http://www.awf.or.jp>